

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-288512

(43)Date of publication of application : 04.10.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 13/00

(21)Application number : 2001-085201

(71)Applicant : PENTA OCEAN CONSTR CO LTD

(22)Date of filing : 23.03.2001

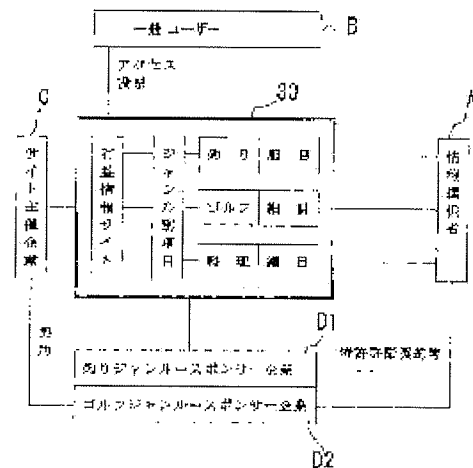
(72)Inventor : KUBO TAKAOKI

(54) INFORMATION PROVIDING METHOD AND SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an information providing method and an information providing system capable of grasping whether various information provided through the Internet is beneficial for general users or not, and effectively activating the beneficial information.

SOLUTION: The information providing method includes a step for registering the information from an information provider A in an information processing device for managing an information providing site 30 through the Internet by an information terminal device, a step for accessing the information providing site of the information processing device through the Internet by general users B by means of an information terminal device, and a step for voting the beneficial information selected by the general users as the beneficial information from a plurality of pieces of information acquired from the information providing site, in the information providing site accessed through the Internet.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-288512
(P2002-288512A)

(43) 公開日 平成14年10月4日 (2002. 10. 4)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6
	3 0 2		3 0 2 E
	5 0 2		5 0 2
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 R

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2001-85201(P2001-85201)

(22) 出願日 平成13年3月23日 (2001. 3. 23)

(71) 出願人 000166627

五洋建設株式会社
東京都文京区後楽2丁目2番8号

(72) 発明者 久保 高起

東京都文京区後楽二丁目2番8号 五洋建設株式会社内

(74) 代理人 100107272

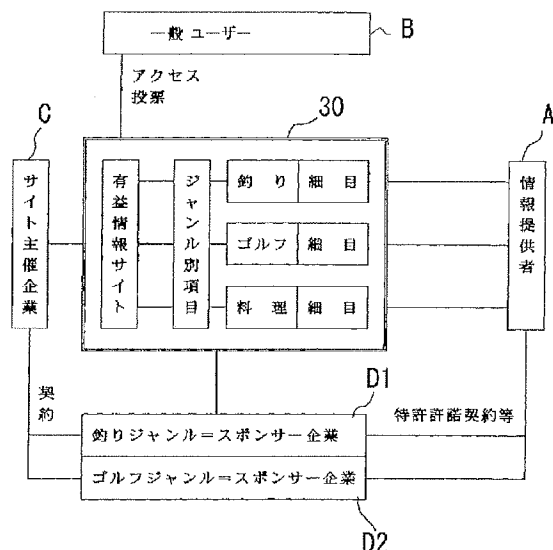
弁理士 田村 敬二郎 (外1名)

(54) 【発明の名称】 情報提供方法及び情報提供システム

(57) 【要約】

【課題】 インターネットを介して提供された種々の情報について一般ユーザにとって有益な情報であるか否かを把握でき、有益な情報を効果的に活用することができる情報提供方法及び情報提供システムを提供する。

【解決手段】 この情報提供方法は、情報提供者Aからの情報を情報端末装置によりインターネットを介して情報提供サイト30の運営のための情報処理装置に登録するステップと、一般ユーザBが情報端末装置によりインターネットを介して情報処理装置の情報提供サイトにアクセスするステップと、一般ユーザが情報提供サイトから得た複数の情報から有益なものとして選んだ有益情報についてインターネットを介してアクセスした情報提供サイトで投票するステップと、を含む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報提供者からの情報を情報端末装置によりインターネットを介して情報提供サイトの運営のための情報処理装置に登録するステップと、一般ユーザが情報端末装置によりインターネットを介して前記情報処理装置の前記情報提供サイトにアクセスするステップと、

一般ユーザが前記情報提供サイトから得た複数の情報から有益なものとして選んだ有益情報についてインターネットを介してアクセスした前記情報提供サイトで投票するステップと、を含む情報提供方法。

【請求項2】 前記情報提供サイトは前記情報提供者からの情報を、新規の情報として提供し、投票対象の情報として提供し、過去の情報として提供するように時系列的に公開する請求項1に記載の情報提供方法。

【請求項3】 前記投票により選ばれた情報を前記情報処理装置が順位付けしてインターネットを介して前記情報提供サイトで優秀情報として表彰するステップを更に含む請求項1または2に記載の情報提供方法。

【請求項4】 前記情報提供サイトと契約した第三者が前記提供された情報または前記優秀情報の情報提供者にインターネットを介してアクセスするステップを更に含む請求項3に記載の情報提供方法。

【請求項5】 情報端末装置によりインターネットを介して情報提供者からの情報を登録するとともに一般ユーザがアクセス可能な情報提供サイトを運営するための情報処理装置を備え、一般ユーザが前記情報提供サイトから得た複数の情報から有益なものとして選んだ有益情報についてインターネットを介してアクセスした前記情報提供サイトで投票することを特徴とする情報提供システム。

【請求項6】 前記情報提供サイトは前記情報提供者からの情報を、新規の情報として提供する新規情報コーナー、有益な情報として投票する有益情報投票コーナー及び過去の情報として提供する過去情報コーナーにおいて時系列的に公開する請求項5に記載の情報提供システム。

【請求項7】 前記投票により選ばれた情報を前記情報処理装置が順位付けしてインターネットを介して前記情報提供サイトで優秀情報として表彰する請求項5または6に記載の情報提供システム。

【請求項8】 前記情報提供サイトと契約した第三者が前記提供された情報または前記優秀情報の提供者にインターネットを介してアクセスする請求項7に記載の情報提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットを介して情報を提供し効果的に活用するための情報提供方法及び情報提供システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 インターネット上で一般ユーザが他人から提供された情報を得て活用することは広く行われており、インターネットの普及とともに盛んに利用されている。

【0003】 例えば、のような情報提供サイトが知られている。

【0004】 ところが、かかる従来の情報提供サイトによれば、提供された情報が一般ユーザに流れるのみで、情報を提供した側は、提供した情報が一般ユーザや企業にとって有益なものか否か等の反響を情報毎にきめ細かく知ることができず、また、一般ユーザにとってもその情報に関する分野に関心はあるが、詳しい知識に乏しい場合等にはその情報が有益なものか否かは分からないのが一般的である。更に、有益な情報の利用を希望する企業等にとっても提供された情報について一般ユーザがどれだけ関心を持つのか等の有益性を予測できない場合があった。このようにインターネットを利用して情報が数多く提供されても、その情報を効果的に活用することが困難な場合があった。

【0005】 また、情報を提供する側が情報を多く持っても、その有効利用が図れない場合には、情報提供のインセンティブが失われてしまうので、結果的に一般ユーザや企業にとって有益な情報を得ることのできる機会が減少してしまう。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上述のような従来技術の問題に鑑み、インターネットを介して提供された種々の情報について一般ユーザにとって有益な情報であるか否かを把握でき、有益な情報を効果的に活用することができる情報提供方法及び情報提供システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために、本発明による情報提供方法は、情報提供者からの情報を情報端末装置によりインターネットを介して情報提供サイトの運営のための情報処理装置に登録するステップと、一般ユーザが情報端末装置によりインターネットを介して前記情報処理装置の前記情報提供サイトにアクセスするステップと、一般ユーザが前記情報提供サイトから得た複数の情報から有益なものとして選んだ有益情報についてインターネットを介してアクセスした前記情報提供サイトで投票するステップと、を含む。

【0008】 この情報提供方法によれば、多数の一般ユーザがインターネット上で提供された複数の情報から有益情報として選んだ情報に投票し、その投票結果により一般ユーザが関心のある情報を把握することができ、また、かかる有益情報を一般ユーザや企業が有効に活用することができる。なお、提供された情報について、反対の無益な情報として投票できるようにしてもよく、ま

た、既に知られた情報であるかもしれない等の疑問の情報については、疑問の投票をできるようにしてもよい。

【0009】この場合、前記情報提供サイトは前記情報提供者からの情報を、新規の情報として提供し、投票対象の情報として提供し、過去の情報として提供するように時系列的に公開するようにできる。このように時系列的に複数の情報を情報提供サイトで公開することにより、一般ユーザは、まず関心のある情報に関して実行し、調査することができ、続いてその結果に基づいて有益情報を選んで投票でき、更に過去の情報を参照することができる。

【0010】また、前記投票により選ばれた情報を前記情報処理装置が順位付けしてインターネットを介して前記情報提供サイトで優秀情報として表彰するステップを更に含むことにより、一般ユーザーや企業は有益情報を簡単に知ることができ、また、情報提供者は有益情報を提供したことが分かり、情報提供サイトやスポンサー企業の表彰を期待でき、情報提供のインセンティブを図ることができる。

【0011】また、前記情報提供サイトと契約した第三者が前記提供された情報または前記優秀情報の情報提供者にインターネットを介してアクセスするステップを更に含むことにより、第三者である企業等が優秀情報の情報提供者に実施許諾交渉等のために簡単にアクセス可能となり、企業等にとって有益情報の実施化が容易となる。また、情報提供者にとっても有益情報について対価性を期待できるので有利であり、情報提供のインセンティブを図ることができる。

【0012】なお、本発明を、以上の情報提供方法をコンピュータ装置で実行するように構成されたコンピュータプログラムとすることができ、また、かかるコンピュータプログラムを記憶した情報記録媒体とすることもできる。

【0013】また、本発明による情報提供システムは、情報端末装置によりインターネットを介して情報提供者からの情報を登録するとともに一般ユーザがアクセス可能な情報提供サイトを運営するための情報処理装置を備え、一般ユーザが前記情報提供サイトで得た複数の情報から有益なものとして選んだ有益情報を情報端末装置によりインターネットを介してアクセスした前記情報提供サイトで投票することを特徴とする。

【0014】この情報提供システムによれば、上述の情報提供方法を実行することができ、一般ユーザの投票結果により一般ユーザが関心のある情報を把握することができ、また、かかる有益情報を一般ユーザや企業が有効に活用することができる。

【0015】この場合、前記情報提供サイトは前記情報提供者からの情報を、新規の情報として提供する新規情報コーナー、有益な情報として投票する有益情報投票コーナー及び過去の情報として提供する過去情報コーナー

において時系列的に公開することが好ましい。なお、情報提供者・企業も含めて一般ユーザが情報提供サイトを利用する場合、予め会員として登録した者だけが氏名とパスワードを入力してアクセスが可能となるように構成してもよい。また、新規情報コーナー及び有益情報投票コーナーは会員だけがアクセスでき、過去情報コーナーは誰もがアクセスできるようにしてもよい。

【0016】また、前記投票により選ばれた情報を前記情報処理装置が順位付けしてインターネットを介して前記情報提供サイトで優秀情報として表彰するように構成でき、また、前記情報提供サイトと契約した第三者が前記提供された情報または前記優秀情報の情報提供者にインターネットを介してアクセスするように構成できる。

【0017】なお、本発明において「情報」とは、分野及び種類を問わず、あらゆるジャンルのものを含み、したがって、情報処理装置及び情報提供サイトは多種の情報をジャンル毎に区分して登録し、公開するように構成されることが好ましい。情報としては、発明、考案、意匠創作、著作権に係わる創作等のみならず、ノウハウ、テクニク（コツも含む）、アイデア、秘訣、工夫、特定ジャンルの好ましい場所・時間、等々の当該分野において有益な情報と思われるもの全てを含む。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明による実施の形態について図面を用いて説明する。図1は本発明の実施の形態による情報提供システムの全体を概念的に示す図である。

【0019】図1に示すように、情報提供システムは、各種の情報を提供する情報提供者の第1の情報端末装置であるパーソナルコンピュータ（以下、「パソコン」という。）11、12、13と、一般ユーザが有する第2の情報端末装置であるパソコン21、22、23と、企業に設置された第3の情報端末装置であるパソコン14、15と、各情報端末装置11～15及び21～23がインターネット10を介して接続可能であり各種情報を登録し提供する情報提供サイトを運営するための情報処理装置（以下、「サーバ」という。）1とを備える。

【0020】サーバ1は、情報提供者の情報をパソコン11～13から受信し、情報提供サイトに関する情報をパソコン11～15、21～23に送信し、また一般ユーザの投票情報をパソコン21～23から受信する等のためのWWWサーバ2と、一般ユーザ、情報提供者及び企業等のサイト利用者の識別番号とパスワードとの照合等の具体的数字を処理等するプログラムを格納したCGIサーバ3と、WWWサーバ2から送られた多数の情報を記憶し各情報を検索可能であり検索した情報をWWWサーバ2に送るデータベースサーバ4とを備え、各種情報の提供のためのWebサイト（以下、「情報提供サイト」という。）を提供している。この情報提供サイトには、インターネット上のアドレスが付けられている。

【0021】各パソコン11～15、21～23は、ハードディスク等の記憶装置にインターネットと接続するためのブラウザを格納しており、このブラウザを起動しアドレスを指定することにより、サーバ1が提供する情報提供サイトにアクセス可能となる。各パソコン11～15、21～23は情報を表示するCRTや液晶等からなる表示部11a、12a、13a、14a、15a、21a、22a、23aをそれぞれ備え、またキーボード及びマウス(図示省略)等の情報入力手段を備えている。

【0022】次に、図2～図6により本実施の形態による情報提供システム及びその使用について具体的に説明する。図2は図1の情報提供システムのサーバ1が提供する情報提供サイトの概略的な構成及びこの情報提供サイトに対する情報提供者、一般ユーザ及び企業等の関係を示す図である。図3は図2の情報提供サイトにおける情報のジャンル別のメニュー構成例を示す図である。図4は図1～図3に示す情報提供システムで情報提供者が情報を図1のサーバに登録する順序を説明するためのフローチャートであり、図5は一般ユーザが情報提供サイトにアクセスし情報を得る順序を説明するためのフローチャートであり、図6は一般ユーザが情報提供サイトで情報に投票する順序を説明するためのフローチャートである。

【0023】図2に示すように、図1のサーバ1が提供する情報提供サイト30は、各種の情報をジャンル別項目により分類し、例えば図のように「釣り」、「ゴルフ」、「料理」の分野に分類する。更に具体的には、図3のように、各種情報を大分類31(例えば、スポーツ、料理、ゲーム、住まい、暮らし、ホビー、PC(パソコン))に分け、それぞれのジャンルについて中分類32(例えばスポーツの場合、釣り、ゴルフ、スキー、キャンプ、・・・等)に分け、更に小分類33による細目(例えば釣りの場合、磯釣り、船釣り、投げ釣り、川釣り、ルアー、湖沼釣り、釣り池)に分ける。

【0024】情報提供サイト30には、情報提供者A、一般ユーザBが図1のように各パソコン11～13、21～23でインターネット10を介してアクセス可能である。また、情報提供サイト30はサイト主催企業Cにより運営され、サイト主催企業Cは、各ジャンル毎にスポンサー企業と契約し、スポンサー企業は情報提供サイト30の関係者の中で特定のジャンルの有益情報について情報提供者との間の特許実施許諾等に関する優先的交渉権を有し、例えば図2のようにスポンサー企業D1、D2はそれぞれ釣りジャンル、ゴルフジャンルの有益情報についての交渉権を優先的に有する。スポンサー企業D1、D2は図1のように情報提供サイト30に各パソコン14、15でインターネット10を介してアクセス可能である。

【0025】以上のような情報提供システムにおいて情

報提供者Aが情報を登録する場合の手順を図1～図4により説明する。まず、情報提供者Aはパソコンでブラウザを起動し、インターネットを介してサーバ1の情報提供サイトに接続すると(S01)、パソコンの表示部に情報提供サイトのホームページが表示され(S02)、ホームページで情報登録の項目を選択すると、情報登録のためのWebページが表示され、情報提供者Aは図3のような順序で情報の属する分野に応じて大分類31、中分類32、小分類33で分野を選択する(S03)。

【0026】そして、選択された分野の情報提供用Webページがパソコンの表示部に表示され、そのWebページに情報を書き込み、パソコンからインターネットを介してサーバ1に送る(S04)。サーバ1のWWWサーバ2は受信した情報をデータベースサーバ4に送りデータベースサーバ4が記憶し登録する(S05)。更に情報を登録する場合はステップS03に戻り、ない場合は終了する(S06)。このようにして、情報提供者からの情報がサーバ1に登録される。

【0027】具体的には、例えば、提供情報が図3で、スポーツ、釣り、磯釣りの場合、(1)X氏が自分の直体験により、○○県△△半島□□瀬の▽▽岩の前では、石鯛が豊富に釣れるポイントがあるという釣り場の詳細情報を具体的なデータとともに投稿する。また、(2)Y氏が石鯛を釣るコマセを独自の配合で作って試したところ効果大であったので、このコマセの作り方(配合)に関するアイデア情報を具体的な作り方や釣果とともに投稿する。かかる各情報は図4のようにして情報提供サイトでスポーツ、釣り、磯釣りに分類されて登録される。

【0028】なお、上述の情報提供者を情報提供サイトに会員登録された者に限定するようにしてもよく、このため情報提供サイトの情報登録のWebページにアクセスする場合には、識別番号(会員番号等)とパスワードを入力してからアクセス可能とするようにしてもよい。

【0029】次に、一般ユーザが情報を閲覧する場合の手順を図5により説明する。まず、一般ユーザBはパソコンでブラウザを起動し、インターネットを介してサーバ1の情報提供サイトに接続すると(S11)、パソコンの表示部に情報提供サイトのホームページが表示され(S12)、ホームページで情報閲覧の項目を選択すると、情報閲覧のためのWebページが表示され、一般ユーザBは図4と同様に図3のような順序で情報の属する分野に応じて大分類31、中分類32、小分類33で分野を選択する(S13)。

【0030】そして、選択された分野の情報閲覧用Webページがパソコンの表示部に表示され、そのWebページに登録情報の一覧が表示され、その中から閲覧したい情報を選択すると(S14)、その情報が表示部に表示される。更に別の情報を閲覧する場合はステップS13に戻り、ない場合は終了する(S15)。

【0031】具体的には、例えば、一般ユーザが図3、

図5のようにして多数の情報のジャンルからスポーツ、釣り、磯釣りを選ぶと、上述の(1)、(2)のような磯釣りに関する情報を閲覧することができる。

【0032】なお、上述の一般ユーザを情報提供サイトに会員登録された者に限定でき、このため情報提供サイトの情報閲覧のWebページにアクセスする場合には、識別番号(会員番号等)とパスワードを入力してからアクセス可能とするようにしてもよい。

【0033】次に、一般ユーザが情報提供サイトで情報に投票する順序を図6により説明する。まず、一般ユーザBはパソコンでブラウザを起動し、インターネットを介してサーバ1の情報提供サイトに接続すると(S21)、パソコンの表示部に情報提供サイトのホームページが表示され(S22)、ホームページで情報投票の項目を選択すると、情報投票のためのWebページが表示され、一般ユーザBは図4と同様に図3のような順序で情報の属する分野に応じて大分類31、中分類32、小分類33で分野を選択する(S23)。

【0034】そして、投票用Webページがパソコンの表示部に表示され、そのWebページで例えば磯釣りに関する多数の情報から有益なものを選び、サーバ1に送信する(S24)。サーバ1は受信した投票情報をデータベースサーバ4に記憶させ登録する(S25)。一定の投票期間経過後、サーバ1は情報提供サイトの投票結果用Webページに各分類毎に情報の投票結果を順位付けして公開し、上位の者を賞品等とともに表彰する(S26)。図7に投票用Webページの例を示すが、投票対象の情報の一覧が例えば図3の小分類33毎に表示され、各欄41、42、・・・に情報番号と情報のタイトルとが表示される。各欄41、42の情報内容の部分をクリックすると、その情報の詳細を知ることができる。一般ユーザが最も有益とした情報を1つ選んで投票欄43に入力し、OKボタン44をクリックすると、その投票情報がサーバ1に送信される。

【0035】上述の例で具体的に説明すると、(1)のX氏の情報に15票が投票され、(2)のY氏の情報に22票が投票された場合、Y氏が優秀賞としてサイト主催企業Cから賞品等とともに表彰される。また、例えば図2のスポンサー企業D1が釣りに関する情報として独自に優秀と認めた情報について別に表彰してもよい。

【0036】なお、上述の投票権を有する一般ユーザを情報提供サイトに会員登録された者に限定でき、例えば各会員はジャンル毎に一票を投票できるように決めておくことができる。このため、情報提供サイトの投票用Webページにアクセスする場合には、識別番号とパスワードを入力してからアクセス可能とするようにしてもよい。

【0037】また、図2のように、サイト主催企業Cがジャンル別に関係する業種例えば釣りの分野では釣り具メーカーであるスポンサー企業D1と契約し、スポンサー

企業D1はジャンル別サイトへのスポンサー広告や投稿された有益情報の実用化・製品化等について情報提供者との間に例えば特許やノウハウ等の実施許諾に関し優先的交渉権を得るように予め取り決めておくことができる。例えば、上述の(2)のY氏が考えた配合のコマセに関心を持つスポンサー企業D1はY氏との間で例えば(売上高×実施料率)で実施契約し、その配合のコマセを製品化することができるとともに、Y氏は実施料を得ることができる。

【0038】また、例えば、上述の(1)のX氏の釣り場情報が有益と認められたら例えば釣り具メーカーのスポンサー企業D1が発行する釣り情報誌に優先的に掲載するように決めておき掲載されたら情報提供の謝礼をX氏に送るようにできる。

【0039】上述のスポンサー企業D1が情報提供者と実施許諾や情報誌掲載許諾等の申し入れ等の交渉を行う場合にも、図1、図2のようにパソコンでインターネットを介して行うことができる。

【0040】また、情報の価値としては、情報が上述の(1)、(2)のように情報提供者の直体験に基づくため有益な情報であることが期待できるとともに、また一般ユーザがその情報を試してみることができ、その結果が投票に反映されるので、高いものとなり得る。また、情報の種類としては、特許や考案等だけではなく、例えば料理のコツ・秘訣等、ゴルフの練習方法等何でもよく、種類を問わない。

【0041】情報提供者にとっては、優秀な情報を一般ユーザが投票でまたはスポンサー企業が決定するので、優秀賞の付与や実施契約等による対価性を期待できる。このため情報提供者の情報提供のインセンティブが増大する結果、情報量の増加を図ることができる。また、スポンサー企業は有益な情報をインターネットを介して簡単に収集することができるとともに、製品の改良や新製品の開発を実現でき、また消費者の動向等を分析することができるので、営業の拡張や発展を図ることができる。また、サイト運営企業は、情報のジャンルを増やすことによりスポンサー契約及び一般ユーザのアクセス数の増大を図ることができる。

【0042】以上のようにして、本情報提供システムでは上述のように情報提供者から提供されて登録され投票された情報を有効かつ効果的に活用することができる。

【0043】また、図2の情報提供サイトは、図3のように、提供された情報を時期的に例えば三段階に分け、順に、新規情報コーナー34a(例えば1ヶ月間)、有益情報投票コーナー34b(例えば1ヶ月間=投票期間)及び過去情報コーナー34c(例えば2年間)に掲載して公開するようにできる。これにより、一般ユーザは、まず関心のある情報に関して実行し試してみることができ、続いてその結果に基づいて有益情報を選んで投票でき、更に過去の情報を閲覧することができる。

【0044】また、有益情報として提供された情報が、陳腐な内容や雑誌・新聞・インターネットのサイト等で掲載された内容である場合、提供情報の質を低下させ、またスポンサー企業も有益情報の入手のチャンスが少なくなることから、この情報提供サイト本来の機能を発揮できずその活用が図れなくなるおそれがある。このため、公知の情報については、提供情報から削除するように構成することが好ましい。例えば、有益情報として登録された情報が、公知の情報であると知った一般ユーザは、情報提供サイトに公知の情報である旨を具体的事実とともに通報できるようにする。この場合、その具体的事実が例えば雑誌であれば、その掲載頁を送ることで立証する。情報提供サイト側で、公知情報と判断した情報は、登録情報から削除する。

【0045】図8に上述のようにして投票した結果を掲載するWebページの例を示す。各欄51、52、・・・に情報番号及び情報内容とともに有益と投票した投票数を掲載する。また、反対に無益と投票するように投票用Webページを構成し、その無益とした投票数を掲載する。また、以前に聞いたりして公知のおそれがあるような灰色情報対策として疑問(?)と投票するようにし、疑問(?)とした投票数を掲載するようにしてもよい。

【0046】以上のように本発明を実施の形態により説明したが、本発明はこれらに限定されるものではなく、本発明の技術的思想の範囲内で各種の変形が可能である。例えば、一般ユーザ等の情報端末装置はパソコンに限定されず、携帯電話等であってもよい。また、図3における情報の各分類31～33は、それぞれ適宜に変更・追加が可能である。

【0047】また、説明の便宜上、図1等では情報提供者と一般ユーザとを分けて説明したが、實際上、情報提供者が一般ユーザになり得るし、一般ユーザが情報提供者にもなり得ることは勿論である。また、情報が発明、考案、意匠創作に係わる場合には、情報提供者は情報が情報提供サイトで公開される前に、特許庁に出願してお*

* けば、新規性を喪失せず、また権利の成立以前でも出願内容が実施許諾の対象となり得る。

【0048】

【発明の効果】本発明によれば、インターネットを介して提供された種々の情報について一般ユーザにとって有益な情報であるか否かを把握でき、有益な情報を効果的に活用することができる情報提供方法及び情報提供システムを提供できる。

【図面の簡単な説明】

10 【図1】本実施の形態による情報提供システムの全体を概念的に示す図である。

【図2】図1の情報提供システムのサーバ1が提供する情報提供サイトの概略的な構成及びこの情報提供サイトに対する情報提供者、一般ユーザ及び企業等の関係を示す図である。

【図3】図2の情報提供サイトにおける情報のジャンル別のメニュー構成例を示す図である。

20 【図4】図1～図3に示す情報提供システムで情報提供者が情報を図1のサーバに登録する順序を説明するためのフローチャートである。

【図5】一般ユーザが図1、図2の情報提供サイトにアクセスし情報を得る順序を説明するためのフローチャートである。

【図6】一般ユーザが図1、図2の情報提供サイトで情報に投票する順序を説明するためのフローチャートである。

【図7】図1、図2の情報提供サイトにおける投票用Webページの画面例を示す図である。

30 【図8】図1、図2の情報提供サイトにおける投票結果を示すWebページの画面例を示す図である。

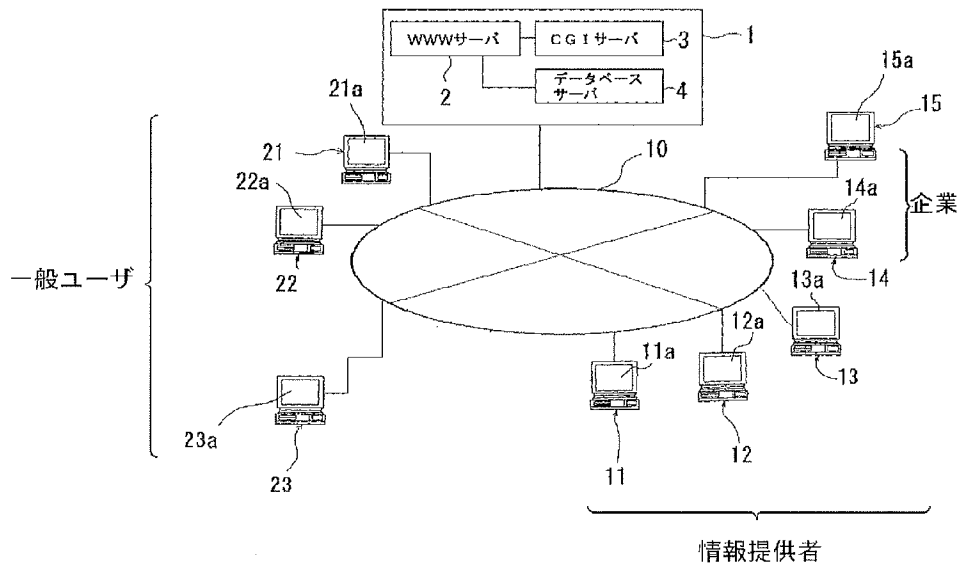
【符号の説明】

- 1 サーバ（情報処理装置）
- 10 インターネット
- 11～15 パソコン（情報端末装置）
- 21～24 パソコン（情報端末装置）

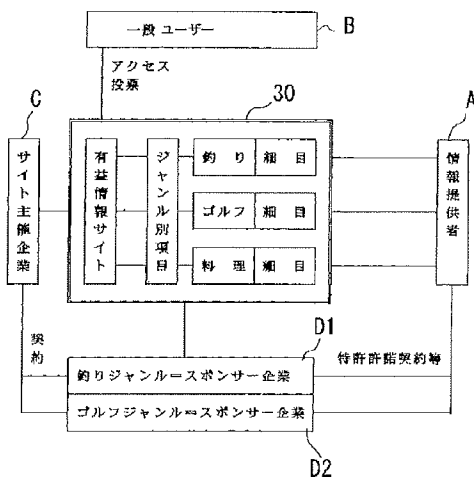
【図8】

投票結果一覧					
	情報番号	有益情報内容	ユーザ投票		
			有 益	無 益	?
51	1223	○○○○について (開く=情報詳細)	234	80	43
52	1224	コマセの作り方 (開く=情報詳細)	539	24	13

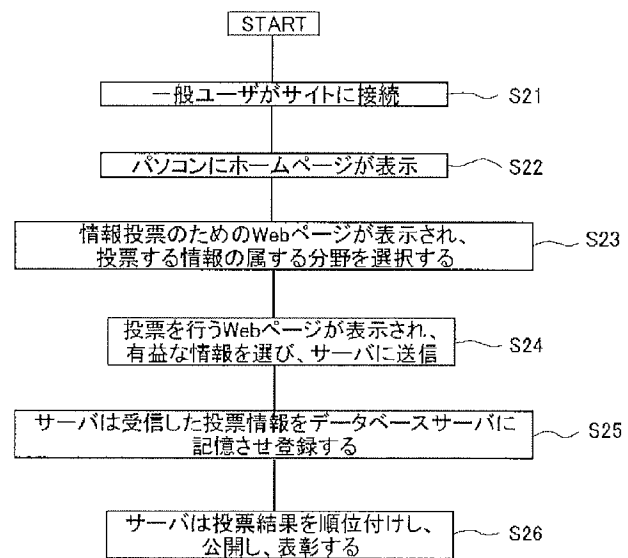
【図1】



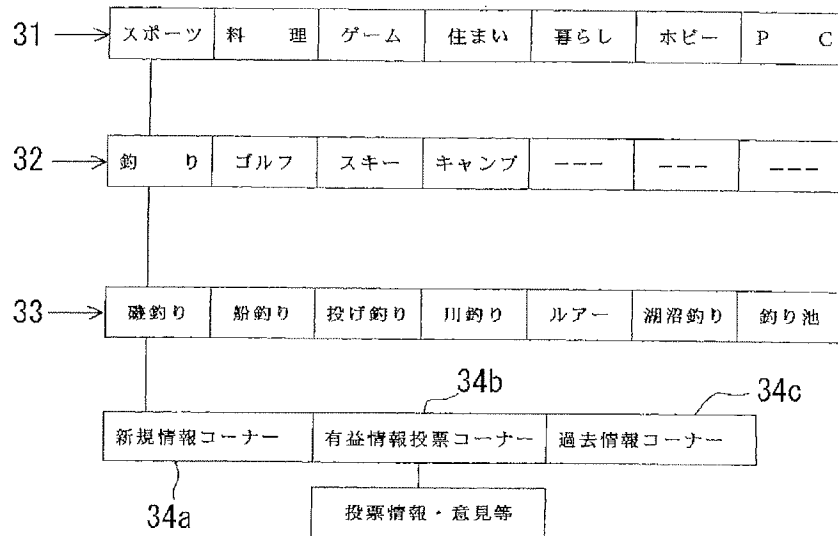
【図2】



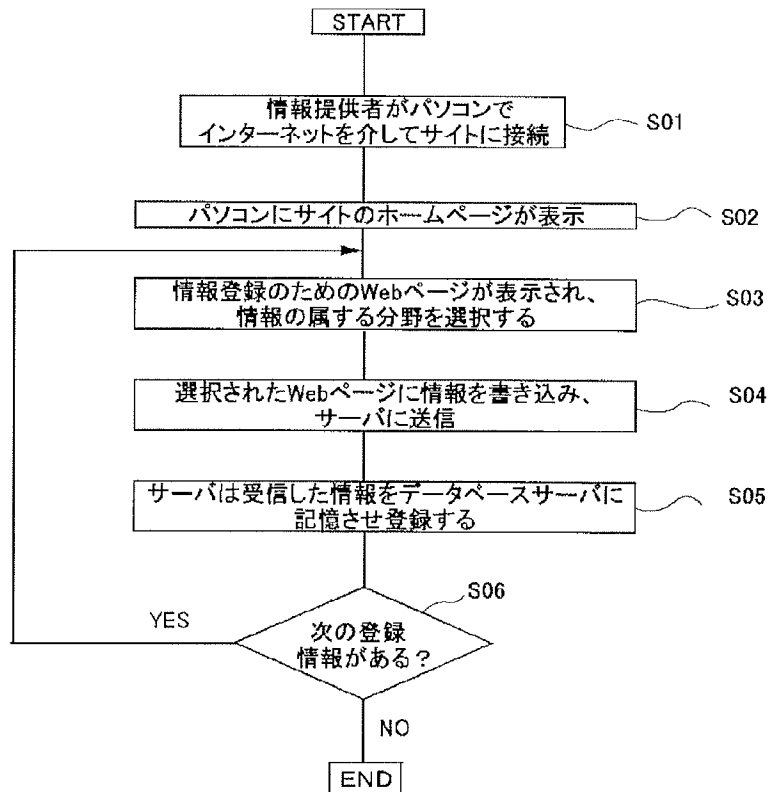
【図6】



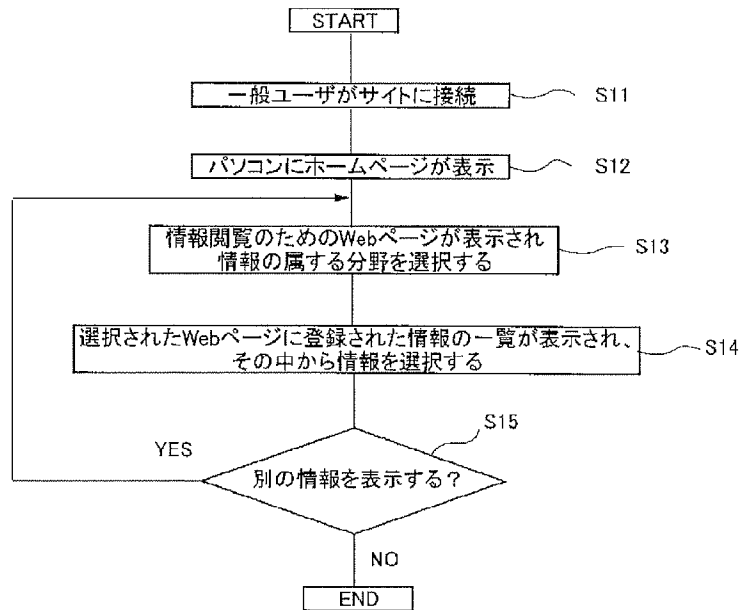
【図3】



【図4】



【図5】



【図7】

投票対象の情報一覧

情報番号	情報内容
1223	〇〇〇〇について
1224	コマセの作り方
...	...
...	...

あなたが投票する
情報番号を入力して下さい

43 投票OK 44

【手続補正書】

【提出日】平成13年3月28日（2001. 3. 28）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正内容】

【0003】従来の情報提供サイトによれば、提供された情報が一般ユーザに流れるのみで、情報を提供した側

は、提供した情報が一般ユーザや企業にとって有益なものか否か等の反響を情報毎にきめ細かく知ることができず、また、一般ユーザにとってもその情報に関する分野に関心はあるが、詳しい知識に乏しい場合等にはその情報が有益なものか否かは分からないのが一般的である。更に、有益な情報の利用を希望する企業等にとっても提供された情報について一般ユーザがどれだけ関心を持つのか等の有益性を予測できない場合があった。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正内容】

【0004】このようにインターネットを利用して情報が数多く提供されても、その情報を効果的に活用することが困難な場合があった。